HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	カンキョウカジカ青森県に分布す
Author(s)	小林, 喜雄; 尾身, 東美
Citation	北海道大學水産學部研究彙報, 15(1), 21-24
Issue Date	1964-05
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/23210
Type	departmental bulletin paper
File Information	15(1)_P21-24.pdf

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

カンキョウカジカ青森県に分布す

小林喜雄・尾身東美
（北海道大学水産学部水産動物学教室）

The First Record of a Freshwater Sculpin, *Cottus hangiongensis* MORI from a River in Honshū, Japan

Kiyu KOBAYASHI and Harumi OMI

Abstract

Two male specimens of a freshwater sculpin, *Cottus hangiongensis* MORI were collected for the first time from the Oibe River, Higashidōri-Mura, Shimokita-Gun, Aomori-Prefecture, Honshū.

After the species had been recorded as a new species from Kai-nei, the northern part of Korea by Mori ('30), the same species was found also from the rivers near Hakodate, Hokkaido by Sato and Kobayashi ('51). However, it has not been recorded yet from any parts of Japan except Hokkaido.

The present paper gives new data on the distribution of this species in Japan.

緒　　論

カンキョウカジカ *Cottus hangiongensis* MORI は森（'30）によって朝鮮の豆満江から始めて記載された種類であるが，その後佐藤・小林（'51）により北海道南部の諸河川および石狩湾に注ぐ厚田川にも棲息することが明らかにされた。佐藤・小林（'53）（'54）および尾身（'62）等はさらに本種の生態，分布並びに成長に伴う形態変化等について報告している。

従来青森県の淡水魚に関しては池田（'36），（'39），岡田・池田（'38），中村（'58），中村・河合（'58）等数多くの報告があるが，それらの報告中にも本種に該当する種類の記載はなく，渡部（'58），（'60），岡田（'60），宮地・川那部・水野（'63）等も，本種の分布に関しては佐藤・小林（'51）の報告にしたがって，北海道南部の河川および厚田川周辺をその分布範囲としている。併し中村（'63）は北海道知床半島にも本種の棲息することを確めた。

筆者等は本種の分布並びにハナカジカ *Cottus nozawae* SNYDER との混棲の関係を明らかにする目的で，北海道南部および青森県の河川に棲息する淡水カジカの採集を続けているが，このたびたまたま青森県下北郡東通村老部川で本種に該当する2標本が採集されたのでここに報告する。

なお本稿を草するに当って終始ご指導を賜った北海道大学教授岡田彌博士に謝意を表する。また資料の提供を受けた青森県水産試験場長杉目宗美氏並びに頼茂氏，安田徹氏および現地における資料の蒐集に協力された青森県下北郡東通村漁業協同組合の各位に感謝する。

形　　態

1963 年 5 月 22 日（標本番号 19415）および 1963 年 6~7 月（標本番号 19414），青森県下北郡東通村老部川（第 1 図）で採集された 2 標本に対する体各部の測定結果は第 1 表に示す通りである。

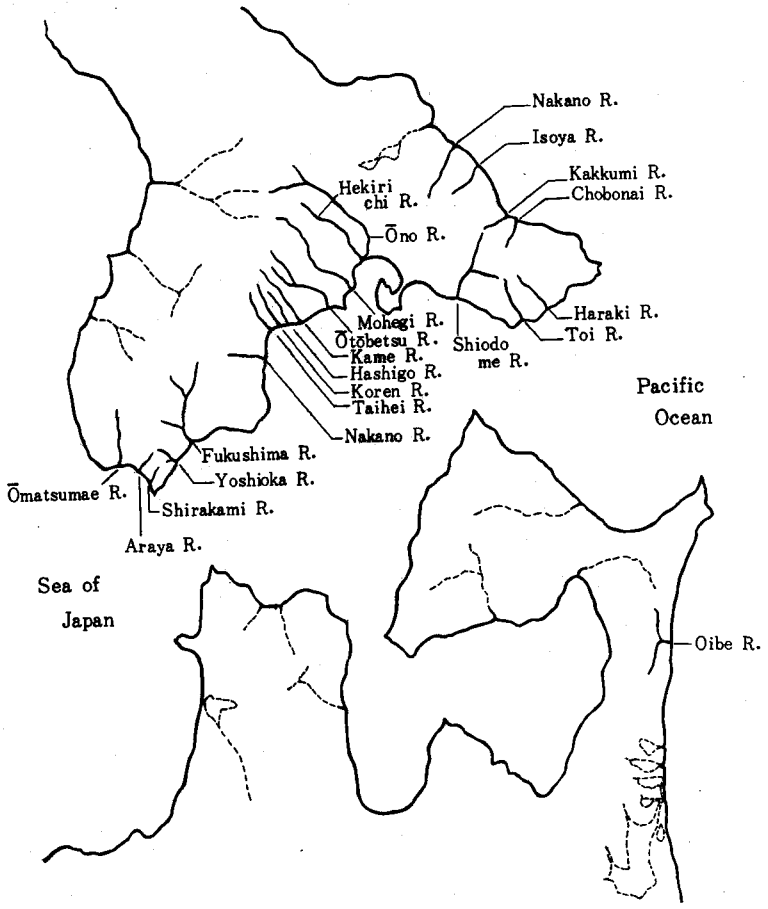


Fig. 1. Map of rivers in the southern part of Hokkaido and the northern part of Honshū. The species, *Cottus hangiongensis* MORI has been collected in the rivers which are named in the map up to now.

標本は雄成魚で，佐藤・小林 ('51), ('54) によって記載された北海道南部諸河川におけるものとよく一致する。

頭部は他種淡水カジカに比べてむしろ小，体高は低く体は細長い。腹鰭は比較的短かく，ハナカジカ *C. nozawae* SNYDER の雄成魚に見られるような疣状突起はない。臀鰭第 6 条より後方の鰭条は長く発達する。体は灰褐色で体側に亀甲状斑が密に分布し，腹部にはホルマリン液浸標本で白色（生時は淡黄あるいは黄色）の虫喰状斑がある。背鰭，臀鰭には 3~4 条，胸鰭，腹鰭には 10 数条の黒褐色帯がある。特に腹鰭の横帯は顕著である。なお前述臀鰭後部の鰭条が長く伸びること，腹部に虫喰状斑があることは本種雄成魚に見られる二次性徴である（図版 I, A, B, C)。

Table 1. Measurements of *Cottus hangiongensis* MORI from Oibe river, Oibe, Higashitōri-Mura, Shimokita-Gun, Aomori-Prefecture, Japan

Specimens No.	19414	19415
Total length (mm)	133.0	133.4
Body length (mm)	110.0	110.8
Head length (mm)	30.0	30.2
Body length / head length	3.7	3.7
Body length / Distance from tip of snout to anus	2.0	2.0
Head length / Length of snout	3.8	3.6
Head length / Length of maxillary	1.8	1.7
Head length / Interorbital width (only bone)	14.0	14.0
Head length / Diameter of orbit	4.4	4.7
Head length / Depth of caudal peduncle	2.9	2.9
Head length / Length of 1st dorsal spine	2.6	2.8
Head length / Length of 2nd dorsal ray	1.8	1.9
Head length / Length of pectoral ray	0.9	1.0
Head length / Length of anal ray	1.3	1.4
Head length / Length of ventral ray	1.4	1.5
Number of 1st dorsal spines	IX	IX
Number of 2nd dorsal rays	20	20
Number of pectoral rays	15	14
Number of anal rays	15	15
Number of ventral rays	I, 4	I, 4
Sex	♂	♂
Date	June～July 1963	22, May 1963

分　　布

本種が北海道南部の茂辺地川，戸切地川および大当別川に分布し，石狩湾に注ぐ厚田川にも棲息することが佐藤・小林 ('51) ('54) により報告されて以来，北海道では更に広範囲にわたる河川に分布することが予想されていた。そして中村 ('63) は知床半島にも本種が分布棲息することを確め記載している。筆者等は 1962 年以来第1図に示す北海道南部の諸河川で採集を行ない，ほとんどすべての河川に本種の棲息することを知ったが，北海道における本種の分布範囲は今後の採集調査によりさらに拡大されることであろう。

しかるに，この度津軽海峡を距てた青森県側の河川にも本種の棲息する事実が確認されたことは甚だ興味が深い。

本種は産業的に見てほとんど価値のない種類であるから，北海道から特に本種の移殖が行なわれたことは考えられない。また青森県のこの地方に北海道から有用魚類の移殖された記録もない。さらに佐藤・小林 ('53) の報告のごとく，本種の卵は沈性凝塊卵であるから他物に付着して運搬移入される可能性にも乏しい。従って本種の青森県内分布は地理的要因に基づくものと考えて誤りはないと考えられる。

文 献

池田兵司 (1936). 青森県の淡水魚類. 博物学雑誌, 34(59), 1～6.

――― (1939). 本邦北部における淡水魚類分布上注意すべき 2・3 の問題. 日本生物地理学会会報, 9(4), 81～90.

Mori, T. (1930). On the fresh water fishes from the Tumen River, Korea, with descriptions of new species. *Jour. Chosen Nat. Hist.*, (11), 54～70.

宮地・川那部・水野 (1963). 原色日水淡水魚類図鑑. 257 頁, 大阪; 保育社.

中村守純 (1958). 岩木川, 十三湖水系の魚類調査報告. 青森県内水面漁業資料, (1), 1～14.

――― (1963). 原色淡水魚類検索図鑑. 258 頁, 東京; 北隆館.

――― ・河合美彦 (1958). 下北半島魚類目録 (予報). 資源科学研究所彙報, (46, 47), 101～103.

Okada, Y. (1960). Studies on the freshwater fishes of Japan. II. Special part. *Jour. Fac. Fish. Prefectural Univ. Mie*, 4(3), 586～860.

――― and Ikeda, H. (1938). Notes on the fresh water fishes of the Tôhoku district in the collection of the Saitô Hô-on Kai Museum. *Saitô Hô-on Kai Mus. Research Bull.*, (15), 85～138.

尾身東美 (1962). 北海道産淡水カジカ 2 種の成長に伴う前鰓蓋骨の形態変化. 北大水産学部彙報, 12(4), 247～252.

佐藤信一・小林喜雄 (1951). 北海道南部における淡水カジカ類について. 同誌, 1(3·4), 129～133.

――― ・――― (1953). 淡水カジカ類の生態について. 同誌, 3(4), 233～239.

――― ・――― (1954). Note on the ichthyofauna of the freshwater in Hokkaido, Japan. *Ibid*, 4(4), 268～295.

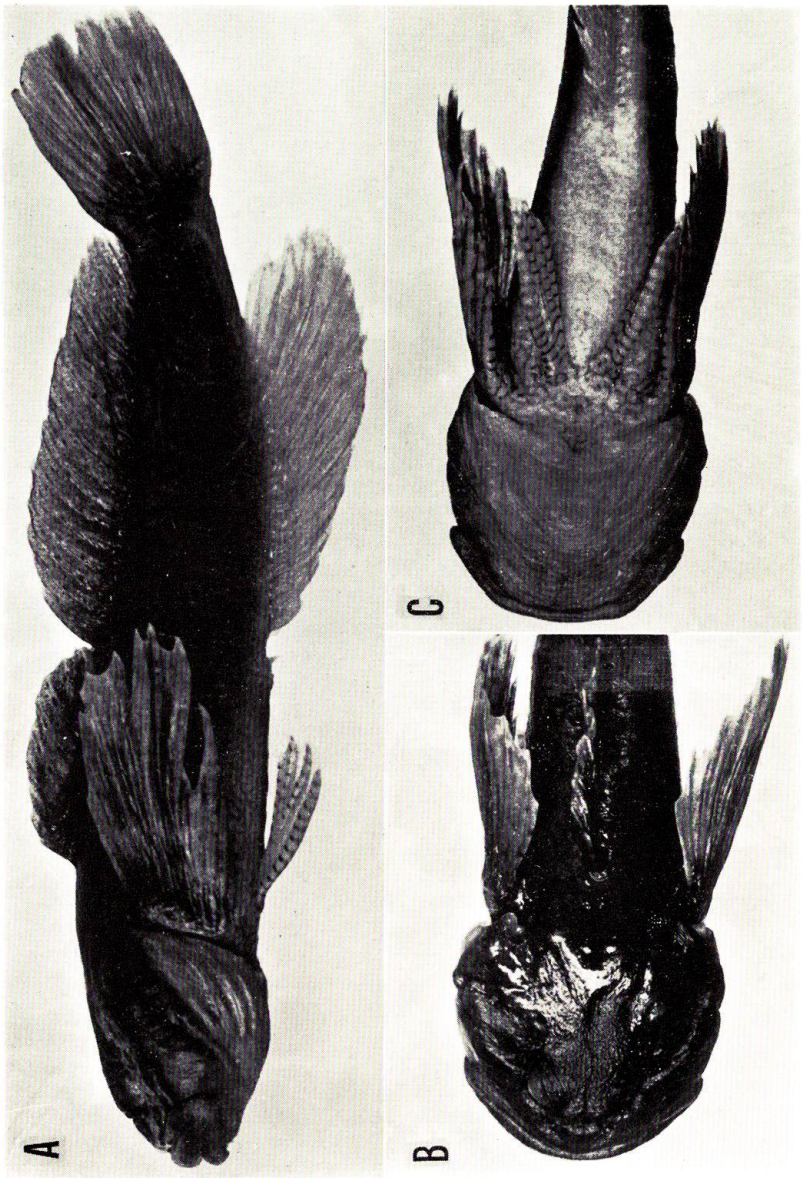
渡部正雄 (1958). 日本産カジカ科魚類の研究. 461 頁, 東京; 角川書店.

――― (1960). *Fauna Japonica, Cottidae*. 218 p, Tokyo; Tokyo News Service, Ltd.

Explanation of Plate

PLATE I

Fig. 1. A: *Cottus hangiongensis* MORI, T. L. 133.4 mm, ♂ (Sp. No. 19415)
B: Dorsal view of the same specimen
C: Ventral view of the same specimen



Kobayashi & Omi: *Cottus hangiongensis* from Aomori, Japan